観察研究のお知らせ

研究課題名：
骨転移の診療実態および予後に関する観察研究

研究の目的：
骨転移は種々のがんで多く認められる病態です。骨転移の治療においては、放射線治療および骨修飾薬が非侵襲的な方法として大きな役割を果たします。しかしながら、どの臓器がんから転移したものであるか、どの治療がなされたか、その後の転帰はどうであったか、などについて詳細なデータがありません。今回我々は骨転移の診療実態および予後に関して調査を行うこととしました。

研究の対象：
当院で2017年の１年間に、骨転移に対して放射線治療もしくは骨修飾薬の治療がなされたがん患者さんが対象です。予定研究対象者数は約300名です。

研究の方法：
該当症例につき、以下の情報をカルテより抽出します
- 原発の悪性疾患（がん）
- 性別、骨転移診断時年齢
- 悪性疾患の初回診断から骨転移診断までの期間
- 骨転移診断からの生存期間
- 骨転移に対する治療内容（放射線治療、骨修飾薬）

本研究のために患者さんに新たな検査をお願いすることはありません。
なお、本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

研究期間：
倫理審査承認日より２年間の予定です

研究成果発表：
学会や学術誌等で報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

お願い：
上記対象条件に該当する患者さんにつきましては、カルテ記載事項や画像など必要なデータを研究に利用させていただくことをご了承ください。
本研究の詳細を知りたい場合には、研究計画書および研究方法に関する資料を入手・閲覧が可能ですので、下記までお問い合わせください。ただし、知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。他の研究対象者患者さんの個人情報に関してはお答えできません。
なお、本研究への診療情報の利用を望まれない場合は、下記までご連絡ください。

研究事務局：
京都大学医学部附属病院 放射線治療科
　松尾　幸憲
　電話：075-751-3762、FAX：075-771-9749

病院相談窓口：
京都大学医学部附属病院　相談支援センター
　電話：075-751-4748
　E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp